

水素燃料電池船と船舶用ステーションの 実現に向けた検討開始の概要について

2020年11月25日
関西電力株式会社

全 長：約30m程度
総トン数：約60トン
速 さ：約9ノット（およそ時速20km）
定 員：100名程度



- 水素船に用いる蓄電池は、充電時に高出力の電気を使うことから、契約電力の増大に伴う電気料金（基本料金）の上昇や、電源設備の大規模化などの影響が想定されます。
- また、船舶に水素を充填する際に用いる圧縮機は、利用時に大量の電力を消費します。
- 当社は、船の運航スケジュールを踏まえ、水素圧縮機や充電器の出力や時間を制御するとともに、契約電力を低減し最適な設備構築を行うことで、使用するエネルギー全体の負荷平準化を目指します。

<エネルギーマネジメント（イメージ）>

・水素圧縮用電気と充電用電気のマネジメントにより負荷の平準化を図ります

